

高等部卒業式

3月10日は、高等部の卒業式。みんなで心を込めて高3年生7名を送り出しました。式では、ご来賓から祝辞をいただいた後に、高等部の在校生が卒業生との学校生活での思い出を語り、門出を祝うエールが送られました。卒業生からは、4月からのクラスの思い出の映像が流され1年を振り返った後に、それぞれが「卒業をむかえるにあたって」の思いを発表していきました。一人ひとりの表現から、仲間とともに過ごしたかけがえのない日々を感じられて、胸が熱くなりました。式後は、玄関からスクールバスまでの道を花のトンネルアーチをつくり、全校生で盛大に送り出しました。

卒業生は、今日のこの日を深く胸に刻んで、新たな一歩を踏み出します。

参加して下さいました来賓のみなさま、保護者のみなさまありがとうございました。



NO. 416

2025年3月12日(水)

発行

神戸大学附属
特別支援学校

〒674-0051
明石市大久保町大窪2752-4
Tel 078-936-5683
Fax 078-936-7114
Mail: kuspe-yougo@edu.kobe-u.ac.jp
URL: http://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-yougo/



学校長式辞

高等部3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

先生や職員の皆さんを代表してお祝いの気持ちを伝えます。

3組の皆さんとは、5月の修学旅行に一緒に行きましてね。

何事もマイペースで、周りが何を言おうとも、ぼくは、私は、自分のペースでやっていきたいんだと揺らがないう7人が、緩やかにつながって、のんびりゆったり自分らしさを發揮しているクラスだと感じました。

それから1年近くが経ち、学習発表会の劇、「アリババと40人の盗賊」では、剣の打ち合いのタイミングや、セリフのタイミングをクラスで一斉練習していきましと聞きましした。クラスの仲間として共に成長していったことを感じ、嬉しく思いました。学習発表会当日の劇は、一人一人のカッコよく演じた、いい劇にしたいという想いが響き合、高等部全体にも広がって、素晴らしかったです。

今日この学校を卒業して、新しい場所に行っても、そこにいる人たちと響き合って、自分の生活を豊かなものにしていくって、自分の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

学校時代を終えて巣立っていくお子様の成長した姿に感慨もひとしおのことと思います。また、在学中は本校の教育活動のために多くのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。卒業後も同窓会行事等を通して本校と繋がっていただ来ますようお願いいたします。

本日の卒業式にご臨席賜りましたご来賓の皆様、心よりお礼申し上げます。今後とも本校に変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に卒業生の皆さん、私は音楽の教員なので、皆さんに歌を送りたいと思います。「学校」です。覚えていたら一緒に歌いましょう。

学校はいつもここにいて皆さんの幸せと活躍を応援しています。

令和七年三月十日

学校長 佐藤 知子

来賓祝辞

神戸大学附属特別支援学校高等部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日の佳き日に、めでたく卒業される7名の皆さんに、神戸大学を代表して祝辞を述べさせていただきます。

皆さんが高等部に入学した頃は、新型コロナウイルス感染予防のため、学校生活に様々な制約がありました。それでも皆さんは、先生方と一緒にいろいろな工夫をしながら、楽しい高等部生活を作り上げてきました。特にこの一年間は、このキャンパスの最上級生として、毎日の生活はもうろん、運動会や学習発表会などの行事でも在校生の素晴らしいお手本になってくれました。

学校生活の中で体験した様々な出来事や、喜び、悲しみなどの感情は、皆さんの宝物となり、これから生きていく支えとなることでしょう。ですから、本校で経験したことや感じた気持ちを大切に、これからの人生に活かしてほしいと思います。

また、今まで皆さんはたくさんの人たちに支えられてきました。人は一人では生きられません。助け合い、支え合いながら生きていくものです。

ですから、今まで支えてくださったご家族、先生方、友だちへの感謝の気持ちを、どうか忘れないでください。そして、これから出会うたくさんの人達にも、感謝の気持ちを持ちながら接してください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派になられたお子様の晴れ姿をご覧になって、感慨もひとしおのことと思います。

これまで、お子様の成長をあたたく、また時には厳しく見守り、常に深い愛情で支え続け、本日この日を迎えられましたことに、お慶び申し上げます。心から敬意を表します。

お子様は、これから社会という大海原に出て行かれます。どんな場面に直面しても、子どもたちの一番の理解者として、寄り添い続けていただきますようお願いいたします。また、これまで本校にお寄せくださいましたご理解・ご協力に、深く感謝申し上げます。本校は卒業生とご家族が頼れる場所でありたいと思っています。今後も引き続き、本校にご支援を賜りましたら幸いです。

先生方におかれましては、日々真摯に子どもたちと向き合い、教育実践研究を追求しながら、この健やかな笑顔と豊かな個性を守り育んでこられたことに、同じ教育者として心より敬意を表します。本校が、卒業生の「心のふるさと」として、時に思い出し、時に頼りにしてくれる、そのような場所であり続けるため、今後もご尽力いただきますようお願いいたします。

最後にもう一度、卒業生の皆さん。

4月から、新たな生活を始める皆さんにお願いがあります。これからの生活において、初めてのことにもどんどん挑戦してください。本校で学んだ皆さんは、困難を乗り越える力を身につけています。本校で経験したことを思い出し、それを勇気に変え、興味を持ったことにどんどんチャレンジしてください。ご家族だけでなく、本校で出会った先生や友だちみんなが、皆さんの味方です。それを忘れないでください。改めまして、本日はご卒業、本当におめでとうございます。

令和七年三月十日

神戸大学理事・副学長 木戸 良明